

ニトログリセリン（舌下）の使い方

ニトログリセリンは、狭心症の発作（胸の痛みや締めつけ）をしずめる薬です。舌の下で溶かすと、口の中から吸収されて速く効きます。いざというときに慌てないように、使い方と、救急車を呼ぶ目安を知っておいてください。



使い方

- ・まず、いすや床に座ります。血圧が下がり、立ちくらみや失神を起こすことがあります
- ・舌の下に置いて溶かします。飲み込むと効きません
- ・スプレー（口の中に吹きつける薬）もあります。使い方は薬剤師に確認してください
- ・使ったあとに頭痛が出る場合があります。使ううちに起こりにくくなります

救急車を呼ぶ目安

- ・1回使っても痛みがはっきり軽くないときは、ただちに119番へ
- ・救急車を待つ間は、3～5分おきに合計3回まで使えます（学会の目安）

狭心症の痛みは数分のことが多く、長くても15～20分です。20分以上続くときは、心筋梗塞のおそれがあります。

一緒に使えない薬

勃起不全などの治療薬（シルデナフィル、バルデナフィル、タダラフィル）や、リオシグアトとは一緒に使えません。血圧が下がりすぎて危険です。ほかの医療機関にかかるときは、ニトログリセリンを持っていると伝えてください。

保管

室温で、子どもの手の届かない所に保管します。使用期限を時々確かめ、切れていたら担当医か薬剤師に相談してください。

こんなときは相談してください

- ・1回使っても胸の痛みがはっきり軽くない、20分以上続く、冷や汗や吐き気・息苦しさを伴うときは、すぐに119番へ
- ・発作が前より増えた、軽い動作や安静にしているにもかかわらず起こるようになったとき（早めに受診してください）

この紙は、担当医の説明を補うものです。診断や治療の指示ではありません。気になることは担当医にご相談ください。

出典: PMDA 医療用医薬品の添付文書（ニトログリセリン舌下錠0.3mg、2023年8月改訂）

https://www.info.pmda.go.jp/go/pack/2171018K1039_1_10/／日本循環器学会ほか「急性冠症候群ガイドライン（2018年改訂版）」

https://www.j-circ.or.jp/cms/wp-content/uploads/2018/11/JCS2018_kimura.pdf

作成: マナヴィア（MANNAVIA、現役内科医）／最終確認: 2026/09/15／製薬会社の資金は受けていません／

mannavia.com/leaflets/nitroglycerin-angina